

2016年10月17日

商業施設、レストラン、映画館は通常通り営業
～イベントや祭事の一部でキャンセル・延期も～

JETRO バンコク事務所

<国際ギフトショー、METALEX などの主要展示会は予定通り開催>

プミポン・アドゥンヤデート国王の逝去に伴い、政府が10月14日以降から1カ月間の娯楽・興行を「可能な限り控える」よう要請したこと、また、国民による催事の自粛ムードなどの影響により、年内に予定されていた一部のビジネス関連イベントや展示会、観光行事などの中止や延期が報告されている。

ビジネスに関連する主なイベントでは、日本のコンテンツ(アニメ、漫画、ゲーム、音楽)のPRを目的に、10月22～23日に開催される予定であった『C3 in Bangkok』(C3 in Bangkok 実行委員会主催)の延期(日程未定)、10月28～30日に予定されていた『タイランド・ゲーム・ショウ・ビッグ・フェスティバル』(True Media Solution 他主催)の延期(日程未定)、11月22日に予定されていた日タイ企業間のビジネス商談会である『第6回タイ・ビジネスマッチング商談会』(サシン日本センター主催)の中止などが発表されている。そのほか、自治体レベルでのセミナーや商談会、視察ミッションなどの一部で、中止や延期が報告されている。

一方、10月19～23日の日程で、国内外から約600社・1,600ブースが出展予定の『バンコク国際ギフト&家庭用品フェア2016』(商務省・国際貿易振興局主催、於:バンコク国際貿易展示場)については予定通り開催されるほか、ASEAN最大の工作機械見本市として知られる『METALEX 2016』についても、現在のところ、11月23～26日の日程で、予定通りの開催が見込まれている(主催:Reed Tradex Company、於:バンコク国際貿易展示場)。

<観光施設や商業施設は通常営業>

主な観光関連行事では、すでに、チェンマイ・イーペン祭り(11月12日～15日)、パタヤ・ロイクラトーン祭り(11月14日)、同国際花火祭り(11月25～26日)などの中止が、タイ国政府観光庁により発表されている。一方で、主要観光施設であるワット・ポー(Wat Pho)や暁の寺として知られるワットアールン(Wat Arun)、王立博物館などは通常通り開館されているほか、プミポン国王の遺体が安置されている王宮やエメラルド寺院についても、閉館期間は10月14～20日までに限られており、21日以降、開館が予定されている。

最新の観光関連のイベントの実施予定や観光施設の開館・営業状況は、タイ国政府観光庁のウェブサイトから確認できる。

<http://www.thailandtravel.or.jp/news/>

首相府広報官の発表によれば、政府は国内の娯楽施設に対して、服喪期間中の営業を「禁止」しておらず、「音楽や催事を、店舗の中に限定すること」を求めている。一方、10月14日から1カ月間のうちに開催を予定している音楽コンサートについては、実施に際して、主催者による地域行政機関への申請・許可取得を求めている。

なお、バンコク市内のショッピングモールなどをはじめとする主要商業施設は、休業や営業時間の短縮などは行わず、通常通りの営業となっている。また、主要レストランや映画館についても、通常通りの営業となっており、営業時間や上映スケジュールの変更は特に出されていない。

一方、商業施設のアパレル関連の多くの店舗で、ショーウィンドウに飾る衣装を黒色で統一するなど、服喪期間ならではの対応が見られる。(以下写真参照)

以上



市内ショッピングモールの様子(10月16日ジェットロ撮影)